

2022年度 日本地球化学会 第69回年会 口頭発表タイムスケジュール

月日	会場	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
9月7日 (水)	A会場		G4 初期地球から現在までの生命圏の地球化学					G4 初期地球から現在までの生命圏の地球化学					夜間集会	オンライン 交流会 会※※					
	B会場		G7素過程を対象とした地球化学					G7素過程を対象とした地球化学											
	C会場		G9 地球化学のための最先端計測法の開発、および、境界領域への挑戦					G1 大気とその境界面における地球化学											
	D会場		S2 太平洋プレートの変遷史					S2 太平洋プレートの変遷史											
9月8日 (木)	A会場		S3 希土類元素の宇宙化学・地球化学																
	B会場		G2 環境地球化学・放射化学																
	C会場		S1 地球化学で拓く地球掘削科学																
	D会場		G6宇宙化学:ダストから惑星、生命へ																
	E会場							総会		授賞式		受賞講演							
	生協											交流会※							
9月9日 (金)	A会場		G8 地球深部から表層にわたる元素移動と地球の化学進化					G8 地球深部から表層にわたる元素移動と地球の化学進化											
	B会場		G9 地球化学のための最先端計測法の開発、および、境界領域への挑戦					G2 環境地球化学・放射化学											
	C会場		G5 古気候・古環境解析セッション					G3海洋の地球化学											
	D会場		G6宇宙化学:ダストから惑星、生命へ					G6宇宙化学:ダストから惑星、生命へ											
9月10日 (土)	高知コアセンター		特別企画 高知コアセンター見学																

※高知県内における新型コロナウイルス感染拡大を受け、9月8日(木)午後に現地で開催していた交流会は中止します。

※※9月7日(水)夜間集会(オンライン)の後に"oVice"による交流を行います。参加者宛てにメールでお知らせします。

9月7日(水) 午前 【A会場】

G4 初期地球から現在までの生命圏の地球化学

9:15 招待講演 PR0211

鉱物に駆動された化学進化：生体分子を生んだ触媒反応
についての研究動向と今後の発展性

○五十嵐 健輔(産総研)

9:45 PR0184

高速液体クロマトグラフ高分解能質量分析法による炭素
質隕石中の尿素分子群の特徴とその意義

○古賀 俊貴(JAMSTEC)

10:00 PR0215

D, L-アラニンの圧力誘起オリゴマー化過程での不斉増幅
の検討

○秋本 篤弥(東大)

10:15 PR0096

初期地球におけるホルモース型反応を用いた核酸塩基類
似物およびヌクレオシド類似物の生成

○平川 祐太(東北大)

10:30 PR0091

紫外線照射によるアデニル酸合成時の水素結合の影響

○小柳 陸希(福岡工業大)

10:45-11:00 <休憩>

11:00 PR0097

リン酸塩鉱物を用いたリボース 5'-リン酸の前生物的生成

○高林 将也(東北大)

11:15 PR0086

蒸発環境におけるペプチド形成に対するホウ酸の影響：
初期地球でのポリペプチド形成に対する示唆

○住栄 侑(東北大)

11:30 PR0156

リンゴ酸モノアンモニウム塩から作成したプロテノイド
ミクロスフェアの粒径制御

○高橋 清楓(福岡工業大)

11:45 PR0062

初期地球上のアミノ酸の起源：Endogenous vs. Exogenous

○小林 憲正(横浜国大)

12:00 招待講演 PR0214

Geo-Electricityが駆動する窒素サイクル

○中村 龍平(東工大)

9月7日(水) 午前 【B会場】

G7 素過程を対象とした地球化学

9:30 基調講演 PR0180

地球化学図の水理解析に基づく流域の主要岩相と河川堆
積物の化学組成の関係性

○太田 充恒(産総研地質調査総合センター)

10:00 PR0179

レアアースイオン吸着型鉱床の形成規制要因：年代や
Reactive transport modelからの考察

○田中 啓資(東大)

10:15 PR0144

現世の海底露岩域で生成する鉄マンガン酸化物の性状と
クラストや団塊の多様性

○臼井 朗(高知大 海洋コア総合研究センター)

10:30 PR0205

理論計算を用いたOCS+O(¹D)反応の反応機構と速度定数

○冬月 世馬(上智大)

10:45-11:00 <休憩>

11:00 招待講演 PR0060

液体鉄-熔融ケイ酸塩間における元素分配の第一原理計
算

○土屋 卓久(愛媛大)

11:30 PR0099

MgSiO₃ガラスとCaSiO₃ガラスの異なる高圧構造変化

○近藤 望(岡山大)

11:45 PR0172

マグネタイトの生成に及ぼす温度とケイ酸の影響

○平野 弘人(九大)

12:00 PR0044

高アルカリ条件における重金属の酸化物への吸着挙動

○武田 夏泉(金沢大)

12:15 PR0118

2:1型層状ケイ酸塩の構造中の鉄による酸化還元反応：環
境中の電池としての役割

○高橋 嘉夫(東大)

9月7日(水) 午前 【C会場】

G9 地球化学のための最先端計測法の開発、および、境界領域への挑戦

10:00 PR0017
ICP-MS/MS を用いた 233U/236U 同位体比測定法の開発と環境放射能研究への応用
○大野 剛(学習院大)

10:15 招待講演 PR0196
加速器質量分析法による宇宙線生成核種の検出と地球化学への応用
○笹 公和(筑波大)

10:45 PR0036
名古屋港で採集された完新世炭酸塩コンクリーションの形成年代
○南 雅代(名大)

11:00-11:15 <休憩>

11:15 PR0048
スルメイカ平衡石の安定同位体分析法の確立と相対経験水温履歴の推定:産地および回遊群の判別に向けて
○久野 光一朗(京大)

11:30 PR0049
高解像度耳石 $\delta^{18}O$ 分析と数値解析による東シナ海マアジの生息水深推定~3次元回遊経路復元を目指して~
○武藤 大知(京大)

11:45 PR0046
Understanding the sources and sinks of methane using paired clumped isotope approach
○張 乃忠(東工大)

12:00 PR0090
地球試料に適用可能な希土類元素間の化学分離を伴わない表面電離型質量分析計による高精度 $143Nd/144Nd$ 比測定法
○デ ビディンヤ(広島大)

9月7日(水) 午前 【D会場】

S2 太平洋プレートの変遷史

9:00 PR0182
太平洋プレートの変遷史~沈み込む海洋プレートの実体を探る
○平野 直人(東北大)

9:15 基調講演 PR0075
太平洋の遠洋性粘土に見られる地球化学的バリエーションとそのグローバル物質循環における重要性
○見邨 和英(千葉工大)

9:45 PR0120
Sr 同位体比および化学組成に基づく南鳥島周辺海域深海堆積物の起源成分の変化とそれをもたらした環境要因の検討
○田中 えりか(JAMSTEC)

10:00 PR0202
化学層序から読み解く南鳥島レアアース泥の堆積層欠落イベント:いつ、どこで、何が起こったか?
○中村 謙太郎(東大)

10:15 PR0100
太平洋における遠洋性粘土およびマンガンノジュールの形成と海洋底火成活動のマクロスケールリンケージ
○町田 嗣樹(千葉工大)

10:30-10:45 <休憩>

10:45 招待講演 PR0138
中央海嶺の時間変動要因の解明を目指して:太平洋チリ海嶺における観測例
○藤井 昌和(極地研)

11:15 PR0093
プチスポット溶岩と中央海嶺玄武岩の希ガス・ CO_2 組成の比較
○小長谷 智哉(北大)

11:30 PR0003
西太平洋海域におけるプチスポット火山群の地球化学的特徴
○三國 和音(東北大)

11:45 PR0042
有人潜水調査船「しんかい 6500」を使用したプチスポット火山の高分解能音響探査
○金子 純二(JAMSTEC)

12:00 PR0006
プチスポット火山による海洋地殻に対する熱水変質の影響
○浅見 慶志朗(早稲田大)

9月7日(水)午後 【A会場】

G4 初期地球から現在までの生命圏の地球化学

13:30 PR0098
還元的な初期火星大気の CO から生成する有機物の異常な¹³C 枯渇
○上野 雄一郎 (東工大)

13:45 PR0176
冥王代ジルコン中の Sc/Yb の評価法の検討
○高橋 真里花 (学習院大)

14:00 PR0142
太古代の大気組成(CO₂, CO, CH₄)の制約
○尾崎 和海 (東工大)

14:15 PR0140
SIMS を用いた硫化鉱物の局所硫黄 2~4 同位体比分析高精度化への取り組み
○牛久保 孝行 (JAMSTEC)

14:30 基調講演 PR0010
海底熱水鉱物の初期生成プロセスにおける微生物活動の重要性~局所硫黄同位体分析の視点から~
○野崎 達生 (JAMSTEC)

15:00-15:15 <休憩>

15:15 PR0014
鉱物学・分子生物学的研究に基づく陸上温泉に産するマンガン酸化物の起源の制約
○塚本 雄也 (東大)

15:30 PR0063
パリノモルフを構成する生体高分子の多様性と化石化
○安藤 卓人 (島根大)

15:45 PR0203
同位体分子分析によるエタン分解微生物の検出
○田口 宏大 (東工大)

16:00 PR0069
Microbial Reworking of Organic Matter in Marine Sediments Revealed by Carbon Isotopic Compositions of Individual Amino Acids
○孫 語辰 (東大)

16:15 PR0171
Eco-redox network model を用いた化学合成細菌群集の発展とエネルギー転換効率に関する熱力学的考察
○瀬戸 蘭美 (奈良女子大)

9月7日(水)午後 【B会場】

G7 素過程を対象とした地球化学

13:30 基調講演 PR0137
金属元素同位体研究による地球表層での化学反応素過程の把握
○谷水 雅治 (関西学院大)

14:00 PR0130
光化学反応における水銀同位体分別の波長依存性
○大野 剛 (学習院大) *講演者変更

14:15 PR0173
クラウンエーテルを用いた溶媒抽出反応における非質量依存型同位体分別へ及ぼす Sn 濃度効果
○有泉 涼子 (学習院大)

14:30 PR0225
X線吸収端近傍構造と量子化学計算を用いた海底鉄マンガン酸化物中のバナジウムの同位体分別予測
○田中 雅人 (東大)

14:45 PR0103
モリブデン吸着におよぼすマンガン酸化物構造の影響
○奥山 晃浩 (金沢大)

15:00-15:15 <休憩>

15:15 招待講演 PR0065
微生物による鉱物形成過程から読み解く地球史・生命史
○白石 史人 (広島大)

15:45 PR0161
非晶質炭酸カルシウムを経由したカルサイトへの不適合元素の導入とバイオミネラリゼーション
○鍵 裕之 (東大)

16:00 PR0160
有機物エアロゾルの液体メタンへの溶解が引き起こすタイタン表層での物質進化
○平井 英人 (東工大)

16:15 PR0190
ラジウムの粘土鉱物への吸着構造解明とそのラジウムの環境挙動への示唆
○山口 瑛子 (JAEA)

9月7日(水)午後 【C会場】

G1 大気とその境界面における地球化学

13:30 招待講演 PR0175
気候変動と化学
○秋元 肇 (国立環境研究所)

14:00 PR0134
三酸素同位体組成を指標に用いた対流圏二酸化炭素と陸域生態系の相互作用の定量化
○中村 恵弥 (名大)

14:15 PR0143
三酸素同位体組成を指標に用いた対流圏窒素酸化物の反応過程追跡
○織田 舞保 (名大)

14:30 PR0034
海洋植物プランクトンによるイソプレンの生成
○清水 南帆 (日本大)

14:45 PR0077
海洋バクテリア HKF-1 による VOCs 生成への培養温度の影響
○奥田 祐樹 (日本大)

15:00-15:15 <休憩>

15:15 PR0181
グリーンランド南東部 SE-Dome アイスコアによる北大西洋季節海水域の近年の DMS 放出量の増加について
○黒崎 豊 (北大)

15:30 招待講演 PR0068
グリーンランドアイスコアから復元する過去 100 年の鉱物ダスト起源とその変動要因の解明
○永塚 尚子 (極地研)

16:00 PR0013
福江島における微小エアロゾル元素の高時間分解観測データと IMPACT モデルによる人為起源鉄の寄与率推定
○伊藤 彰記 (JAMSTEC)

9月7日(水)午後 【D会場】

S2 太平洋プレートの変遷史

13:30 PR0039
ホウ素と塩素から紐解く太平洋海山の変質度合い
○佐野 貴司 (科博)

13:45 PR0191
北西太平洋における Fe-Mn クラストの成長速度変化の要因; Os 同位体層序年代からの制約
○小林 英史 (弘前大)

14:00 PR0092
西太平洋海山群の Sr, Nd, Pb 同位体組成、Ar-Ar 年代
○神藤 裕哉 (東北大)

14:15 PR0007
沈み込む太平洋プレートの実体とプチスポット火山群の Ar-Ar 年代・U-Pb 年代
○平野 直人 (東北大)

14:30 基調講演 PR0076
日本海溝海側斜面における間隙水の同位体組成と流体循環
○鹿児島 涉悟 (富山大)

15:00-15:15 <休憩>

15:15 招待講演 PR0198
日本列島に沈み込む太平洋プレートの実態 - 北西太平洋における地震構造探査研究 -
○藤江 剛 (JAMSTEC)

15:45 PR0064
EM-1 成分に富むプレート内玄武岩の元素組成と比較したプチスポット玄武岩の特徴
○新保 陽輔 (東北大)

16:00 PR0116
海洋リソスフェアの温度構造: マントル捕獲岩研究からの視点
○石川 晃 (東工大)

16:15 PR0117
前弧域の枯渇したマントルカンラン岩が記録する古溶融イベント
○秋澤 紀克 (東大)

9月8日(木) 午前 【A会場】

S3 希土類元素の宇宙化学・地球化学

9:00 PR0071
宇宙線照射がもたらす地球外物質中のいくつかの希土類元素の同位体変動と宇宙化学
○日高 洋(名大)

9:15 PR0163
希土類元素同位体から読み解く玄武岩質ユークライト隕石の形成年代および宇宙線照射履歴
○齊藤 天晴(名大)

9:30 基調講演 PR0023
138La-138Ce 放射年代測定への歩みと Chart of the Nuclides
○田中 剛(名大)

10:00-10:15 <休憩>

10:15 PR0061
Geochemical significance of Eu isotope fractionation in anorthosite
○李 承求(韓国地質資源研究院)

10:30 PR0031
希土類元素安定同位体比を用いた pH 指標の開発
○中田 亮一(JAMSTEC)

10:45 PR0073
The cerium isotope fingerprints of redox fluctuation in the regolith
○李文帥(東大)

11:00 PR0079
都市部におけるイオン吸着型希土類元素の潜在的な「化学時限爆弾」の環境リスク評価
○王 园园(東大)

11:15-11:30 <休憩>

11:30 PR0204
レアアース(REE)イオン吸着型鉱床におけるREE深度プロフィールおよび吸着構造の系統的理解
○長澤 真(東大)

11:45 PR0224
市販の食用海藻中の重金属元素含有量と希土類元素パターン
○豊田 和弘(北大)

12:00 基調講演 PR0021
希土類元素研究から始まった生物化学風化研究 : 氷期-間氷期サイクルにおける炭素循環
○赤木 右(九大)

9月8日(木) 午前 【B会場】

G2 環境地球化学・放射化学

9:30 PR0108
生物性Mn(IV)酸化物によるラジウム吸着
○田中 万也(JAEA)

9:45 PR0150
水田土壤中の酸化還元サイクルへの粘土鉱物の構造中の鉄の寄与および窒素固定を行う鉄還元菌の活性化
○清水 優希(東大)

10:00 PR0218
Rhodochrositeの生成に着目した成層型湖沼最深部へのマンガン濃集機構
○佐藤 佑磨(東大)

10:15 PR0207
国内中栄養型湖沼におけるケイ素の生物地球化学的動態に関する比較湖沼学的研究
○田柳 紗英(東大)

10:30 PR0041
モンゴルのゴビ湖の谷にあるオログ湖のヒ素とウランの汚染
○Baasansuren Gankhurel(金沢大)

10:45-11:00 <休憩>

11:00 招待講演 PR0226
リン循環解明に向けたリン酸素安定同位体比の可能性
○石田 卓也(広島大)

11:15 招待講演 PR0210
樹木中の放射性セシウムの挙動
○太田 朋子(長岡技術科学大)

11:30 PR0018
海水からヒラメ体内へのトリチウム移行に関する実験
○石川 義朗(環境科学技術研究所)

11:45 PR0219
高アルカリ条件における緩衝材の変質挙動: バッチ式反応試験とモデル化
○市川 希(原子力発電環境整備機構)

~~12:00 PR0123~~
~~原位置トレーサー試験による掘削損傷領域の物質移行特性評価~~
~~○武田 匡樹(JAEA)~~

9月8日(木) 午前 【C会場】

S1 地球化学で拓く地球掘削科学

- 9:30 PR0087
丹沢山地で湧出する高 pH 温泉水の起源の解明
○中澤 椋雅 (高知大)
- 9:45 PR0028
松代群発地震に関与した流体の起源に関する地球化学的
制約条件
○Zahra Zandvakili (高知大)
- 10:00 PR0015
沖縄トラフ熱水域の掘削コア試料を用いた年代学研究
○石橋 純一郎 (神戸大)
- 10:15 招待講演 PR0081 海底掘削試料から明らかにな
った鬼界カルデラ火山噴出物の特徴
○中岡 礼奈 (神戸大)
- 10:45-11:00 <休憩>
- 11:00 PR0088
鬼界カルデラ破局噴火の噴火準備過程 —ちきゅう SCORE
試料より—
○羽生 毅 (JAMSTEC)
- 11:15 PR0035
オントンジャワ海台の火山砕屑物と変質による海洋環境
への影響
○佐野 貴司 (科博)
- 11:30 招待講演 PR0162
海底下堆積物の微生物多様性
○星野 辰彦 (JAMSTEC)
- 12:00 PR0067
多変量統計解析を用いた深海堆積物中の生物源アパタイト
におけるレアアース濃集過程の検討
○安川 和孝 (東大)
- 12:15 PR0174
バーチャル研究航海構想: 高知コアセンターの保管コアを
活用した新たな掘削科学プロジェクト
○池原 実 (高知大)

9月8日(木) 午前 【D会場】

G6 宇宙化学: ダストから惑星、生命へ

- 9:30 招待講演 PR0029
はやぶさ2による C 型小惑星サンプルリターンの完遂 —
その飛行概要と成果
○津田 雄一 (JAXA)
- 10:00 PR0050
Phase2 高知チームによるリュウグウ研究成果: 一年の分析
から何がわかったのか?
○伊藤 元雄 (JAMSTEC)
- 10:15-10:30 <休憩>
- 10:30 PR0045
リュウグウ vs 炭素質コンドライト: 有機物の赤外分光分析
からの知見
○癸生川 陽子 (横浜国大)
- 10:45 PR0206
リュウグウ粒子の可溶性有機物の空間分布と鉱物との関
係
○橋口 未奈子 (名大)
- 11:00 PR0104
Muon 特性 X 線を用いた C 型小惑星リュウグウ試料の非破
壊分析
○寺田 健太郎 (大阪大)
- 11:15-11:30 <休憩>
- 11:30 PR0178
小惑星リュウグウ試料中の 2 価鉄を含む蛇紋石とサポナイ
トの還元力の比較
○河合 敬宏 (東大)
- 11:45 基調講演 PR0157
リュウグウ試料の局所その場同位体分析からわかったリ
ュウグウ母天体の水質変成温度と年代
○永島 一秀 (ハワイ大)

9月8日(木)午後 【E会場】

13:30 総会

15:00 授賞式

15:30 受賞講演

<日本地球化学会奨励賞>

天然に分布するテトラピロール化合物の炭素・窒素同位体比を用いた生物地球化学過程の研究
伊左治雄太 (JAMSTEC)

<日本地球化学会奨励賞>

始原的隕石物質の局所同位体比分析による原始太陽系円盤進化の研究
福田航平(大阪大)

<日本地球化学会奨励賞>

河川系や森林土壌における炭素や放射性セシウムの動態に関する地球化学的研究
真中卓也 (森林総合研究所)

~~9月8日(木)午後 【生協】~~

~~17:00 交流会~~

~~中止~~

9/7 オンライン交流会に変更 (夜間集会の後に開催)

9月9日(金) 午前 【A会場】

G8 地球深部から表層にわたる元素移動と地球の化学進化

9:15 PR0040
黒海・日本海酒田沖のメタン冷湧水成炭酸塩のリチウム同位体組成
○宮嶋 佑典(産総研)

9:30 PR0147
京都の温泉水の地球化学
○糸井 稜(高知大)

9:45 PR0106
岡山県における温泉水のLi, Srの同位体地球化学
○秋柴 愛斗(高知大)

10:00 PR0149
紀伊半島南西部のLiとSr同位体地球化学
○水原 涼(高知大)

10:15-10:30 <休憩>

10:30 招待講演 PR0114
電気比抵抗構造と同位体比の関係から探るマグマ性流体上昇経路と地震発生
○相澤 広記(九大)

11:00 PR0177
始良カルデラ周縁の温泉成分と地質構造
○川端 訓代(鹿児島大)

11:15 招待講演 PR0146
水蒸気噴火噴出物からみた火山熱水系
○大場 司(秋田大)

11:45 PR0155
鉛直硫化水素センサーアレイを用いた火山性ガス放出量定量法開発
○渡部 紘平(名大)

12:00 PR0032
The evolution of Neotethys ocean controlled the magmatic activities in Iran Plateau for a long period
○アジジ ハジホセイ(クルジスタン大)

9月9日(金) 午前 【B会場】

G9 地球化学のための最先端計測法の開発、および、境界領域への挑戦

9:15 基調講演 PR0025
同位体顕微鏡を月面に設置する
○坂本 直哉(北大)

9:45 PR0107
ジルコン微量元素組成による起源岩石種推定の再評価:機械学習を用いたアプローチ
○板野 敬太(秋田大)

10:00 PR0186
津波堆積物の多次元地化学データの機械学習による識別
○島田 智久(東北大)

10:15 PR0151
モナズ石に対するレーザーアブレーション ICP-MS/MS を用いたウラン系列年代分析法
○仁木 創太(東大)

10:30 PR0083
ジルコンのアニーリング処理によるジルコン U-Pb 年代; 沢入花崗閃緑岩中のジルコンの例
○福山 繭子(秋田大)

10:45-11:00 <休憩>

11:00 招待講演 PR0030
ラマン分光法を応用した地質温度圧力計の開発と応用
○瀬戸 佑衣(名大)

11:30 PR0127
起源マグマの化学組成の制約に向けた LA-ICP-MS によるアパタイトの局所 Sr 同位体分析手法の開発
○鏡味 沙耶(JAEA)

11:45 PR0131
LA-ICP-MS/MS を用いた初期胚の多元素空間分布分析法における定量性の検討
○田中 正太郎(学習院大)

12:00 PR0019
液中レーザーアブレーションによる無機元素と生体分子の局所分析法の開発
○平田 岳史(東大)

9月9日(金)午前 【C会場】

G5 古気候・古環境解析セッション

9:00 招待講演 PR0141

希土類元素地球化学の原生代前期炭酸塩岩への応用
○澤木 佑介(東大)

9:30 PR0145

希土類元素組成から再考するガボンの前期原生代炭酸塩岩の堆積環境
○吉田 聡(東大)

9:45 PR0037

カナダ・ヒューロニアン累層群における 23.5 億年前の碎屑性堆積岩の Mo 同位体比組成
○後藤 孝介(産総研)

10:00 PR0009

白亜紀末隕石衝突直後の環境変動: 親銅元素組成からの理解
○丸岡 照幸(筑波大)

10:15 PR0016

拓洋第5海山の異なる4水深から採取されたマンガンクラスタの Nd 同位体比と Pb 同位体比の時系列変化
○天川 裕史(JAMSTEC)

10:30-10:45 <休憩>

10:45 PR0136

千葉複合セクションの n-アルカン分析による海洋酸素同位体ステージ 19 の陸上気候・植生変動復元
○梶田 展人(弘前大)

11:00 PR0124

最終氷期における千年スケールの南半球偏西風変動
○長谷川 精(高知大)

11:15 PR0153

完新世の南半球偏西風変動 ○長島 佳菜(JAMSTEC)

11:30 PR0170

最終間氷期における南パタゴニア氷原の大規模融解
○粕谷 拓人(九大)

11:45 PR0209

深海サンゴ(トクササンゴ)の炭酸塩骨格を用いた古海洋研究の展望
○小坂 由紀子(高知大)

12:00-12:30 招待講演 PR0187

データ同化とイノベーション統計を用いた古気候復元と気候プロキシに含まれる誤差の推定
○岡崎 淳史(弘前大)

9月9日(金)午前 【D会場】

G6 宇宙化学: ダストから惑星、生命へ

10:00 PR0158

Cr 同位体から見る小惑星 Vesta の熱史
○山下 勝行(岡山大)

10:15 PR0223

ホワルダイト隕石中の炭素質コンドライトクラスタの熱変成作用の痕跡
○伊佐 純子(千葉工大)

10:30 PR0115

月玄武岩隕石 Asuka-881757 のイルメナイト Pb-Pb 年代
○伊藤 健吾(東大)

10:45 PR0199 火星隕石のクロム同位体組成

○西川 慶次(東工大)

11:00-11:15 <休憩>

11:15 PR0164

火星の表層環境解明に向けたシャーゴッタイト隕石の局所窒素化学種解析
○大西 健斗(広島大)

11:30 PR0159

火星の表層環境解明に向けたアナログ試料の局所窒素化学種分析
○黒川 愛(広島大)

11:45 PR0095

ヘリウム広領域イメージング法による Northwest Africa 801 隕石中の太陽風ヘリウム分布の解明
○和田 壮平(北大)

12:00 PR0169

月イルメナイトの太陽風起源希ガスの深さ方向分布
○大槻 悠太(北大)

12:15 PR0200

バーバートン緑色岩体における隕石衝突起源スフェールの探索
○日比谷 由紀(東大)

9月9日(金)午後 【A会場】

G8 地球深部から表層にわたる元素移動と地球の化学進化

13:30 基調講演 PR0089

地球コアにおける軽元素と水のふるまい：高温高圧中性子回折実験によるアプローチ ○飯塚 理子（ハーバード大）

14:00 PR0070

第一原理計算による溶融鉄-溶融ケイ酸塩間の Hf-W 分配と 182W 同位体の初期進化 ○鈴木 勝彦（JAMSTEC）

14:15 PR0125

太古代岩石中のタンゲステン同位体不均質性の検証
○榎本 葉月（東大）

14:30 PR0026

PREMA-F0Z0-HIMU を用いたリサイクル年代の見積もり
○下田 玄（産総研）

14:45 PR0165

高速拡散経路の影響を考慮したアパタイト中の水素拡散
○吉元 史（京大）

15:00 PR0212

二次イオン質量分析法による流紋岩質ガラス中の各水分子種のイオン化効率を考慮した検量線法の評価
○鈴木 明政（京大）

15:15-15:30 <休憩>

15:30 基調講演 PR0078

火山ガラスとメルト包有物の揮発性物質からみた地球内部水循環 ○清水 健二（JAMSTEC）

16:00 PR0043

神津島の流紋岩及び玄武岩質捕獲岩の Mo 安定同位体組成
○田村 達也（東工大）

16:15 PR0185

局所測定によるマントル捕獲岩中包有物の希ガス同位体比-背弧域大陸下マントルの希ガス同位体不均質の起源の直接的制約 ○横倉 侘奈（北大）

16:30 PR0110

北米南西部およびアフリカ北西部の大陸下マントルにおける希ガス同位体組成 ○深川 雅央（東大）

16:45 PR0053

グリーンランド西部の超苦鉄質岩中の流体包有物の希ガス分析から探る太古代マントルの交代作用
○福島 菜奈絵（東大）

17:00 PR0208

クック諸島産マントル捕獲岩から推定する太平洋プレートの熱化学構造 ○秋澤 紀克（東大）

17:15 PR0109

コロンビア・ゴルゴナ島のビーチサンドから採取したクロムスピネルの希ガス同位体比とハロゲン組成
○角野 浩史（東大）

9月9日(金)午後 【B会場】

G2 環境地球化学・放射化学

13:30 基調講演 PR0128

同位体環境化学の現在地と展望
○角皆 潤（名大）

14:00 PR0213

$^{234}\text{U}/^{238}\text{U}$ 同位体指標を用いた熊本地下水域における人為起源的 NO_3^- の起源解析
○栗林 千佳（関西学院大）

14:15 PR0193

14C、 $\delta^{13}\text{C}$ 及び無機元素分析によるイラン・クルディスタン州の都市大気エアロゾルの発生源解析
○片岡 賢太郎（名大）

14:30 PR0047

都市河川における溶存無機態リン酸の三酸素同位体組成定量
○三歩一 孝（名大）

14:45-15:00 <休憩>

15:00 PR0126

北海道幌延地域の深部地下環境におけるセレンの長期的な収着・保持メカニズム
○出井 俊太郎（JAEA）

15:15 PR0133

福島原発事故を起源とする放射性核種 ^{129}I および ^{137}Cs による環境汚染実態の解明
○長岡 壮太（学習院大）

~~15:30 PR0052~~

~~東シナ海、日本海および亜熱帯循環西部での東電福島第一原子力発電所事故起源放射性セシウムの長期挙動
○青山 道夫（筑波大）~~

15:45 PR0122

大型台風に伴う河川氾濫による福島沿岸海水の放射性セシウム濃度の上昇について
○高田 兵衛（福島大）

16:00 PR0216

福島第一原子力発電所近傍海域における海水中の ^3H 、 ^{90}S 、 ^{134}C 、 ^{137}Cs 濃度の経年変化と変動要因について
○城谷 勇陸（海洋生物環境研究所）

9月9日(金)午後 【C会場】

G3 海洋の地球化学

13:30 招待講演 PR0094

最終氷期最盛期における海洋炭素循環のモデリング研究
○小林 英貴 (東大)

14:00 PR0183

硝酸の三酸素同位体異常を指標に用いた半閉鎖性海域における窒素循環速度定量 ○河西 鯨伍 (名大)

14:15 PR0195

硝酸イオンの安定同位体比定量法の改良
○小松 大祐 (東海大)

14:30 PR0012

2019年春季親潮域の海洋表面マイクロ層における透明細胞外重合体粒子(TEP)の蓄積 ○野坂 裕一 (東海大)
*9/7(水) 16:15~に変更(C会場)

14:45-15:00 <休憩>

15:00 PR0001

濃度および安定同位体比の測定に基づいた水圏環境におけるMo, Wの分布と起源の解析 ○松岡 航平 (京大)

15:15 PR0022

東部インド洋におけるビキニ核実験起源プルトニウムの輸送過程 ○山田 正俊 (海洋生物環境研究所)

15:30 PR0002

東部インド洋における鉄と硝酸塩の鉛直フラックス
○Idha Yulia Ikhsani (東大)

15:45 PR0008

マリアナ海溝周辺と亜寒帯北太平洋における微量金属分布の比較 ○陳 卓然 (京大)

16:00 PR0004

東シナ海における溶存態ニッケル, 銅, 亜鉛の同位体比分布 ○高野 祥太郎 (京大)

16:00-16:15 <休憩>

16:15 PR0066

海水中溶存態Fe, Ni, Cu, Zn, Cd, Pb安定同位体比分析法の開発 ○金村 英雄 (京大)

16:30 PR0154

魚類の筋肉-肝臓間における鉄安定同位体比差の支配要因
○長谷川 菜々子 (東大)

16:45 PR0197

現場型放射線センサによる外洋域での鉛直連続計測
○下島 公紀 (東京海洋大)

17:00 基調講演 PR0227

外洋域および熱水域におけるクロムの分布および分布に影響を与える要因 ○一色 健司 (高知県立大)

9月9日(金)午後 【D会場】

G6 宇宙化学: ダストから惑星、生命へ

13:30 PR0194

粉体への高速度衝突: 爆心点周辺物質の回収
○黒澤 耕介 (千葉工大)

13:45 PR0057

赤外分光法を用いた加熱その場分析による炭素質コンドライト隕石の脱水の反応速度論的解析
○鄭 夢妍 (横浜国大)

14:00 PR0113

NanoSIMSを用いたYamato-86029リン酸塩鉱物のU-Pb年代分析 ○横路 友翼 (茨城大)

14:15 PR0112

Mn-Cr年代測定に向けたMn-, Cr-, Fe-含有ドロマイトの合成と相対感度係数の評価 ○菅原 慎吾 (茨城大)

14:30 PR0167

Vigarano隕石中のfluffy Type A CAIから見つかった異なる形成年代をもつメリライト結晶群
○田邊 路紗アイディーン (北大)

15:45-15:00 <休憩>

15:00 PR0056

飛行時間型ICP質量分析法を用いたAllende隕石マトリックス中の微粒子個別分析 ○栗原 かのこ (東大)

15:15 PR0020

アエンデ隕石細粒CAIの核合成起源Ti同位体異常
○増田 雄樹 (東工大)

15:30 PR0192

プレソーラーSiCのヘリウム深さ方向分析
○和泉 樹 (北大)

15:45 PR0121

液中レーザーアブレーションを用いたサンプリング法の隕石中微粒子への適用 ○赤宗 舞 (東大)

16:00-16:15 <休憩>

~~16:15 PR0005~~

~~地球外有機物の酸素同位体比~~ ○奈良岡 浩 (九大)

16:30 PR0221

炭素質コンドライトの高分解能イメージング質量分析: CHN化合物の分布が示す初期太陽系での有機物生成
○古川 善博 (東北大)

16:45 PR0166

小惑星内部の水質変質模擬実験におけるガンマ線照射によるアミノ酸の生成 ○石川 あかり (横浜国大)

17:00 PR0105

隕石母天体内部での前生物的な糖の生成におけるガンマ線とアンモニアの影響 ○安部 隼平 (横浜国大)

ポスターセッション

G1 大気とその境界面における地球化学

PR0101 北陸地方における上空大気中の過酸化水素およびホルムアルデヒド濃度の測定 (Ⅲ)

○Koichi Watanabe 富山県立大学

PR0102 融雪期の山岳域における積雪中の化学成分の特徴

○渡辺 幸一(富山県立大学)

PR0132 製鉄所高炉停止前後における大気および雨水中粒子の性状

○岩本 洋子(広島大学大学院)・下地 和希(広島大学)・小玉 泰聖(広島大学)・竹田 一彦(広島大学大学院)

G2 環境地球化学・放射化学

PR0058 生物起源シリカの埋没続成作用を模擬した鉱物相変化に伴う脱水が間隙水水質に及ぼす影響

○宮川 和也(日本原子力研究開発機構)・中田 弘太郎(電力中央研究所)・柏谷 公希(京都大学大学院)・諏訪 由起子(株式会社セレス)

PR0059 新第三系堆積層における埋没続成作用を考慮した一次元数値解析モデルによる間隙水の水質進化

○宮川 和也(日本原子力研究開発機構)・柏谷 公希(京都大学大学院)・小村 悠人(京都大学)・中田 弘太郎(電力中央研究所)

PR0085 大阪湾、淀川および大和川のマイクロプラスチックに関する研究

○中口 譲(近畿大学)・喜多 達也(近畿大学大学院)・木野 愛美(近畿大学)・安井 利輝(近畿大学)・近藤 聖(近畿大学)・渡利 翔太(近畿大学)

PR0152 長野県・下諏訪の毒沢鉱泉における強酸性水質の成因

○柳澤 良亮(信州大学)・榊原 厚一(信州大学)・山本 淳一(長野県諏訪清陵高等学校)・江島 輝美(信州大学)

PR0189 Sr 同位体比と 14C 年代から探る前橋泥流と塚原泥流の 給源火山と山体崩壊の年代

○佐藤 興平(静岡大学)・南 雅代(名古屋大学)・若木 重行(海洋開発研究機構)

PR0220 湖国内成層型湖沼における懸濁態生物活性元素に対する微生物細胞寄与の評価

○平山 耕太郎(東京大学大学院)・砂村 倫成(東京大学大学院)・石水 浩喜(東京大学大学院)・高橋 嘉夫(東京大学大学院)・板井 啓明(東京大学大学院)

G3 海洋の地球化学

PR0024 南北インド洋における有機臭素ガスと CFC-11、イソプレンの測定

○大木 淳之（北海道大学）

PR0027 北西太平洋 2 海山の鉄マンガングラスト表面のテルル安定同位体組成

○深海 雄介（学習院大学）・柏原 輝彦（海洋研究開発機構）・天川 裕史（海洋研究開発機構）・渋谷 岳造（海洋研究開発機構）・臼井 朗（高知大学）・鈴木 勝彦（海洋研究開発機構）

PR0080 $^{234}\text{Th}/^{238}\text{U}$ 比を用いた日本海における多環芳香族炭化水素類の鉛直分布解析

○小澤 萌音（金沢大学）・松中 哲也（金沢大学）・田中 さき（金沢大学）・Rodrigo Mundo（金沢大学）・井上 睦夫（金沢大学）・亀山 紘旭（金沢大学）・森田 貴己（水産研究・教育機構）・三木 志津帆（水産研究・教育機構）・長尾 誠也（金沢大学）

PR0129 中部北太平洋東経 175 度線上から採取された沈降粒子の元素フラックスと鉄同位体組成

○山岡 香子（産業技術総合研究所）・Jasper Konter（ハワイ大学）・川幡 穂高（東京大学）

G4 初期地球から現在までの生命圏の地球化学

PR0055 サブミクロン赤外分光装置を用いた原核生物 1 細胞分析の試み

○伊規須 素子（海洋研究開発機構）・宮崎 征行（海洋研究開発機構）・酒井 早苗（海洋研究開発機構）・高井 研（海洋研究開発機構）

PR0139 テトラエーテル脂質から辿る霧島硫黄山南火口域の地熱活動

○北島 富美雄（九州大学）・林田 碧（九州大学）・前田 渉太（九州大学）・石橋 純一郎（神戸大学）・奈良岡 浩（九州大学）・太田 名津美（九州大学）・松島 健（九州大学）

PR0168 嫌気性微生物生態系の進化が太古代の気候状態に与えた影響

○黒田 悠香（東邦大学）・尾崎 和海（東京工業大学）

PR0222 低温蛇紋岩化反応における水素生成再現のための地球化学モデリング

○菅原 あすか（北海道大学大学院）

G5 古気候・古環境解析セッション

PR0038 高知県浦ノ内湾における人新世の重金属汚染と環境変動

○神徳 理紗（高知大学大学院）・村山 雅史（高知大学）・新井 和乃（高知大学）・原田 尚美（海洋研究開発機構）

PR0051 表層堆積物に含まれる浮遊性有孔虫チャンバーの微量元素比の変化と個体差

○吉村 寿紘（海洋研究開発機構）・常 青（海洋研究開発機構）・大河内 直彦（海洋研究開発機構）

石谷 佳之 (海洋研究開発機構)・Ulanova Dana (高知大学)・遠藤 博寿 (鶴岡工業高等専門学校)・黒田 潤一郎 (東京大学)・氏家 由利香 (高知大学)

PR0054 海底堆積物コア中の浮遊性有孔虫の地球化学分析結果に対する汚染の影響の除去と古気候学的示唆

○窪田 薫 (海洋研究開発機構)・石川 剛志 (海洋研究開発機構)・池原 実 (高知大学)・横山 祐典 (東京大学)・フランシスコ ヒメネス-エスペホ (グラナダ大学)・シドニー ヘミング (コロンビア大学)・スティーブ バーカー (カーディフ大学)・イアン ホール (カーディフ大学)

PR0119 弱酸型陽イオン交換樹脂を用いた微量炭酸塩試料からの硫酸イオン抽出法開発

○古知 武 (東京大学)・黒田 潤一郎 (東京大学)・小川 奈々子 (海洋研究開発機構)・吉村 寿紘 (海洋研究開発機構)・大河内 直彦 (海洋研究開発機構)

PR0148 長期間の古気候記録の取得を目指した洞窟内での鍾乳石掘削報告

○植村 立 (名古屋大学)・有村 悠汰 (名古屋大学)・阿部 理 (名古屋大学)・浅海 竜司 (東北大学)

PR0188 高精度窒素・炭素同位体比測定に向けた前処理法の検討: 堆積岩標準試料を用いた再評価

○藤崎 渉 (筑波大学)・松井 洋平 (海洋研究開発機構)

G6 宇宙化学: ダストから惑星、生命へ

PR0135 火星衛星探査計画 MMX・SAWT による帰還試料の初期記載・初期分析の検討

○深井 稜汰 (宇宙航空研究開発機構)・臼井 寛裕 (宇宙航空研究開発機構)・藤谷 渉 (茨城大学)・高野 淑識 (海洋研究開発機構)・馬上 謙一 (北海道大学)・小池 みずほ (広島大学)・三浦 弥生 (東京大学)・Andrew Beck (Marietta College)・Enrica Bonato (DLR Nancy L. Chabot Johns Hopkins University)・Frederic Moynier (IPGP Sara S. Russell Natural History Museum)・玄田 英典 (東京工業大学)・古川 善博 (東北大学)・松岡 萌 (産業技術総合研究所)・菅原 春菜 (宇宙航空研究開発機構)・橘 省吾 (東京大学)・Michael E. Zolensky (NASA)・坂本 佳奈子 (宇宙航空研究開発機構)・安部 正真 (宇宙航空研究開発機構)

PR0217 初期火星熱水系で起きる水-岩石反応により発生する熱水の化学組成

○上田 修裕 (学習院大学)・渋谷 岳造 (海洋研究開発機構)・松井 洋平 (海洋研究開発機構)

G7 素過程を対象とした地球化学

PR0033 沈み込み帯におけるアルカン熱分解・重合反応の GC-MS 解析

○滝本 樹奈 (北海道大学大学院)・篠崎 彩子 (北海道大学大学院)

G8 地球深部から表層にわたる元素移動と地球の化学進化

PR0082 深成岩中のジルコンメルト包有物の組成分析

○谷脇 由華（愛媛大学大学院）・下岡 和也（愛媛大学大学院）・齊藤 哲（愛媛大学大学院）

PR0072 熱水の化学分析による火山活動モニタリング-霧島山えびの高原硫黄山の例-

○谷口 無我（気象研究所）・大場 武（東海大学院）・福岡 管区气象台（気象庁）・鹿児島 地方气象台（気象庁）・宮崎 地方气象台（気象庁）

PR0084 函館地域に賦存するNa-Cl型熱水の形成過程

○新谷 毅（北海道立総合研究機構）・大森 一人（北海道立総合研究機構）・高橋 徹哉（北海道立総合研究機構）・富田 恵一（北海道立総合研究機構）

G9 地球化学のための最先端計測法の開発、および、境界領域への挑戦

PR0011 多重周回型飛行時間質量分析計に搭載する誘導電荷検出器の開発

○馬上 謙一（北海道大学）・青木 順（理研）・石原 盛男（大阪大学）・塚本 尚義（北海道大学）

S1 地球化学で拓く地球掘削科学

PR0074 東南極ケーブダンレー沖海底堆積物の粒度の端成分モデリングによるスーパー間氷期の南極底層水形成変動の復元

○竹原 景子（高知大学大学院）・加藤 悠爾（筑波大学）・板木 拓也（産業技術総合研究所）

PR0111 XRF コアスキャナーによる高解像度迅速分析で得られた日本海堆積物の元素組成に基づく古海洋変動

○関 有沙（信州大学）・多田 隆治（千葉工業大学）・村山 雅史（高知大学）